

平成 年(家)第 号(被相続人:)

申立ての実情

平成 年 月 日

名古屋家庭裁判所 御中

(作成者)住所 _____

氏名 _____ (印)

電話() - _____

(電話の際には、「裁判所」と名乗っても良いですか。
名乗って良い。 個人名でかけてほしい。)

この書面は記録の閲覧謄写請求があった場合、開示されますので、それを前提にお書きください。

1 遺産の範囲

申立人主張の遺産の範囲は遺産目録記載のとおり

遺産目録の他にもあるが申立人は把握していない

その他 ()

2 遺言書の有無

ある

公正証書 自筆証書(遺言書の検認は している していない)

(家裁 支部 平成 年(家)第 号遺言書検認申立事件)

ない

3 遺産の使用・管理状況

誰が何をどのように使用・管理しているのか，以下にお書き下さい。

不動産

預貯金

その他の遺産

4 当事者間における分割協議の有無

協議をした（ 回位 ）

協議がまとまらなかった経過は次のとおり（誰と誰の間でこういった意見の相違があったのでまとまらなかったというように具体的にお書き下さい）

協議をしていない

分割協議をしなかった理由は次のとおり（できるだけ具体的にお書き下さい）。

5 遺産分割方法について

(1) 自分の希望は次のとおり

遺産目録番号()を取得したい。

現金で取得したい。

上記以外，希望は以下のとおり（できるだけ具体的にお書きください。）

(2) 相手方の希望は次のとおり

遺産目録番号（ ）の取得。

現金での取得。

上記以外（以下に，できるだけ具体的にお書きください。）

6 特別受益・寄与分の主張について

(1) 特別受益の主張（相続人の中に，被相続人から，生前に，結婚の際や，そのほか生計の資本（生活のもとで）として，まとまった財産の贈与を受けた人がいるから，その分を先取り分として今回の分割に当たって考慮してほしい，という主張）をする考えが

ない

ある（誰がいつ何をもらったのかについて，その具体的内容を，別添の特別受益目録を参考にして，一覧表の形にして整理し，この書類に添付してください。）

(2) 寄与分の主張（遺産目録に書いた遺産のうち，どれかについて，自分が特別の寄与（貢献）をしたことによって手に入れたものや，又は貢献のおかげで売ったり，解約しないで残すことができたものがあるから，その貢献した金額の分だけ自分の取得分を増やしてほしい，という主張）をする考えが

ない

ある（貢献に当たる行為の具体的内容と時期，それによって取得され，または維持された遺産がどれかについて，できるだけ具体的に記載してください。足りない場合は別紙に記載してください。）

(参考)

平成 年(家イ)第 号

進行連絡メモ

- 1 調停期日についてご都合の悪い曜日(土日祝日を除く)、時間帯(午前、午後)をお書きください。
※ご希望に添えない場合もありますので、ご了承ください。

- 2 相手方について、わかる範囲でお書きください。

名前	職業	電話番号	調停に出席困難な事由 (病気等調停の進行に影響すると思われる事項)

※ 用紙が足りない場合は別の用紙にお書きください。

- 3 その他、上記以外で、調停進行上注意が必要と思われる事項

作成者 住所 _____
名前 _____ 印
職業 _____
連絡先 _____

※ 日中に連絡がとれる電話番号を書いてください。